

大阪港海難防止対策委員会

情報第 1 号

令和元年10月10日（木曜日）17時00分発表

令和元年10月10日

関係機関 各位

阪神港長
阪南港長

台風19号大阪湾接近に伴う「第一体制（避難準備勧告）」について

台風19号が大阪湾に接近するおそれがあります。

港則法第39条第4項に基づき、10日17時00分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に在港している船舶は「第一体制（避難準備勧告）」による措置を執るよう勧告する。

港長の勧告区分	台風の状況	船舶の措置内容
第一体制 (避難準備勧告)	台風が大阪湾に接近するおそれがあると判断された場合	<ol style="list-style-type: none">1 気象情報を収集し、台風の動向に留意すること。2 乗組員を招集して荒天準備となし、機関の準備等、必要に応じ運航できる体制とすること。3 関係先との連絡手段を確保しておくこと。4 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。<ol style="list-style-type: none">(1) 国際VHF (CH16) を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。(2) 当直員 (船橋当直・無線当直等) を配置すること。(3) AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。

※ 港長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧告：港則法第39条第4項に基づく勧告

避難場所を選定する際には、堺泉北港栈橋から3マイル以内には錨泊をしないようお願いします。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, 1.

Released at 17 : 00^T, 10^D, Oct^M, 2019^Y JST.

Month Oct Date 10th Year 2019

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phase I(Recommendation for preparing to evacuate)”Associated with Typhoon No.19 (name Hagibis) approaching Osaka Bay.

Due to Typhoon No.19 (name Hagibis) approaching Osaka Bay.

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels at anchor in the Hanshin (Osaka-ku/Sakai-semboku-ku) and Hannan ports are advised to take the appropriate measures related to the“PhaseI(Recommendation for preparing to evacuate)”, from the time of 17:00^T, 10^DofOct^M,2019^Y, JST.

Stage of Measures	State of Typhoon	Details of measures
Phase I (Recommendation for preparing to evacuate)	If there is a possibility of a typhoon approach to Osaka Bay.	<ol style="list-style-type: none">1 Pay attention for the weather information and the movement of typhoon2 Stand by crew on board and stand by engine in order to taking necessary actions against rough weather and sea.3 Ensure communications means with related parties.4 The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor.<ol style="list-style-type: none">(1) Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16.(2) Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch.(3) Maintain AIS in operation at all times.

*Captain of the port : Captain of the Hanshin port(Osaka district and Sakai-Semboku district) and Hannan port
Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

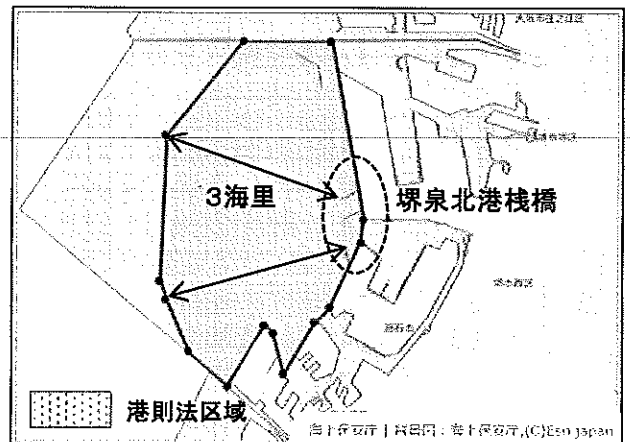
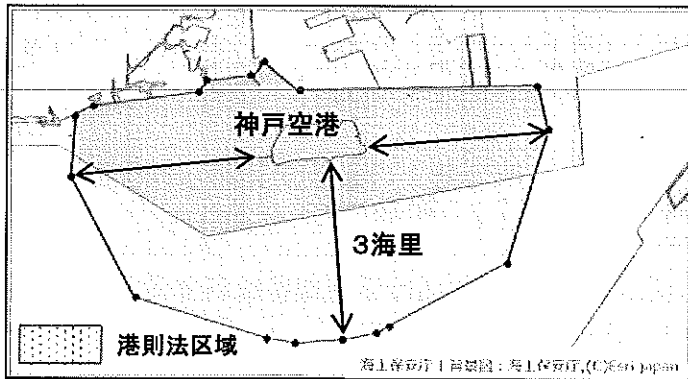
荒天時の走錨に注意！！

～荒天時に伴う海上保安庁からのお願い～

台風等により荒天が予想される場合、走錨に起因する事故等防止のため、「神戸空港」「堺泉北港棧橋※₁」それぞれの施設から3海里内の海域に錨泊しないで下さい※₂

※₁「コスモ石油(株)堺製油所原油棧橋」、「大阪ガス(株)泉北製造所第二工場LNG第2棧橋」、「堺LNG(株)堺LNGセンター棧橋」
 ※₂当該海域に錨泊船がいる場合、港則法第39条に基づく出域勧告又は退去命令を発する場合があります

<参考図>



錨泊する際は、自船が各施設から3海里以上離れていることをレーダー等により確認のうえ、振れ回りなどを考慮した余裕をもった海域を選定して下さい。

台風等により荒天が予想される場合は、『走錨は起こりうる』との認識のもと、以下の点について注意して運航してください。

- 最新の台風情報等を入手し、影響が少ない海域への早めの移動（台風の右半円を避ける等）
- 状況に応じて錨泊をしないという選択肢も考慮（ちちゅう等）
- 運航管理者等による安全を重視した適切なサポート（船側が必要とする情報の提供、助言）

荒天時に錨泊※する場合の注意事項

- 近接する錨泊船舶との安全な船間距離の確保
- 船橋における常時ワッチ（自船位置の確認、周囲の見張り、国際VHF16ch常時聴守等）
- 緊急時に直ちに対応できるような体制確保（エンジンスタンバイ）

※ 錨泊制限等のない海域への錨泊に限る。



第五管区海上保安本部

〒650-8551 神戸市中央区波止場町1-1

電話 078-391-6551（代表）

（問合せ先）

交通部航行安全課（078-331-2710）

個別のお問合せはこちら

◎ 神戸空港周辺海域

神戸海上保安部航行安全課（078-331-6743）

◎ 堺泉北港棧橋周辺海域

大阪海上保安監部航行安全課（06-6571-0223）

堺海上保安署（072-244-5076）